

課題 4 チェックガイド

※注意点

「プログラム」の項目がすべて満たされていた場合、課題 4 を合格とします。合格とならなかった場合、学習者は再度提出しますので、忘れずにご確認ください。また、サンプルプログラムを提示していますが、必ずこの通りになっている必要はありません。

● プログラム

✓ 数値は入力できるようになっているか

数字が入力できるようになっているかを、プログラムを実行して確認してください。

✓ 分岐処理を使っているか

奇数の判別をする際に、分岐処理が使われているかどうかを確認してください。

✓ 反復処理を使っているか

数字を入力する処理と奇数を判別する処理を 10 回、反復処理を使って行っているか確認してください。

✓ 変数は正しく使えているか

変数を使っているか確認してください。今回は奇数を数える際に変数を使用すると思います。

✓ 作品は正常に動いているか

今回の課題は奇数を入力した回数をカウントする課題となっています。実際に 10 回入力してみて、正常に動いているか確認してください。また、最後に 1 度結果を表示している場合のみ合格としてください。入力されるたびに表示されている場合などは間違いとみなしてください。

● 作業履歴

✓ 学習者の履歴を確認したか

学習者の履歴に一度は目を通してください。スキップしたものを確認するだけでも構いません。それらを見て、学習者がどのように課題に取り組んだか、課題で躓いていたか、どこで躓いたのかが分かってくるとと思います。

✓ 学習者に対して適切なコメントができているか

何かしらのコメントを必ず学習者にしてあげてください。「合格です」といった簡単なコメントでも構いません。ただし、間違っている学習者に対しては何が間違っているのか、どのように解決するのかを教えてあげてください。その際、

最初から答えを直接教えるのはやめましょう。また、同じ間違いを繰り返している学習者に対して同じコメントを繰り返したりはしていませんか。同じ間違いを繰り返している場合は少しずつ補足するなどして、学習者を助けてあげてください。

- **総合**

- ✓ **チェック漏れはないか**

- 確認した結果を正確に伝えるようにしましょう。情報課題は「プログラム」の項目がすべて満たされている場合のみ合格としていますが、不合格だからと言ってチェックを全く付けずに終了するのはやめてください。